



大井川で合同・共同点検を実施 ～大井川の重要水防箇所を点検～

6月11日(火)吉田町、焼津市、島田市にて、地元自治会、水防団等、静岡河川事務所、静岡県、各市町による合同・共同の水防点検を実施しました。地元住民に身近な河川の水害リスク等を知ってもらい、適切な避難行動や水防に対する意識を高めていただくため大井川の重要水防箇所の説明や現場確認を行いました。

重要水防箇所の点検



水防団等との意見交換会



水防団や消防団、静岡県、各市町と水防活動時の退避基準やその必要性について、意見交換会を実施しました。

重要水防箇所 の考え方と評定基準について



- 重要水防箇所とは**
- 『重要水防箇所』とは、洪水時に危険が予想され重点的に巡視点検が必要な箇所のことです。その箇所の堤防の状態などにより『堤防高』『堤防断面』『漏水』『水衝洗濯』『法崩れ・すべり』などの**6個の種類**と**3種類の要注意区間**に分類されます。
- ・重要水防箇所・・・①堤防高、②堤防断面、③工作物(橋梁桁下高)、④漏水、⑤水衝洗濯、⑥法崩れ・すべり
 - ・要注意区間・・・工事施工、新堤防・破堤跡・旧川跡、陸間

危険水位(危険箇所)とは

『はん濫危険水位』とは、水位観測所ごとに設定されており、それぞれの水位観測所の受け持ち区間の**堤防の低い箇所(危険箇所)**の堤防高から決められています。

